

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計動向 関連 (北関東)	良く なっている	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・前年同月に比べ売上、来客数共に大幅に伸びている。	
		商店街(代表 者)	来客数の動き	・夏休み商戦は中盤から後半まで天気に泣かされたが、大河ドラマ決定による人気で曇り空は振り払った形である。	
	やや良く なっている	百貨店(店長)	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要後に低迷していた化粧品や日用品などの動きが戻ってきており、宝飾、呉服を除く大部分の商品群が前年の売上を超えるようになってきたからである。	
		スーパー(総務 担当)	販売量の動き	・消費税増税後の直近と比べると少しは売上が上がってきている。前年と比べても9掛けの数値である。	
		スーパー(統 括)	販売量の動き	・食品は、天候の安定で行楽地店舗が好調であることや野菜、豚肉の相場高もあり、既存店売上が前年同月比を5.5%上回って推移している。衣料品も夏物の最終処分と秋物が好調で、前年同期を超える販売量である。	
		コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・夏休みのため、1日平均100人以上、来客数が増えている。	
		コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・来客数が戻ってこない。	
		乗用車販売店 (統括)	来客数の動き	・消費税増税の影響が薄れてきている。	
		その他専門店 [ガソリンスタ ンド](従業員)	販売量の動き	・2~3か月前はマイナスだった販売量が前年並みになってきている。	
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・宴会参加の一部の客の様子が明るくなってきている。業種や会社によって内容の明暗が分かれてきているように感じられる。	
		観光型旅館(経 営者)	販売量の動き	・消費税増税後の影響がようやく薄れてきた。	
		都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・4月の消費税増税後の動向が懸念されていたが、県内の3ホテルいずれも8月は稼働が上向き傾向になり、ある程度は消費税の影響を感じられないような稼働となっている。3か月前と比較するとやや良くなっている。	
		都市型ホテル (副支配人)	来客数の動き	・7~8月の来客数、単価は前年を上回っている。売上自体も特需的な団体客も含まれているが、団体、個人共に好調に推移してきている。	
	変わらない		商店街(代表 者)	販売量の動き	・猛暑で客足が伸びないのは例年のことだが、お中元の贈答も少なく、その後のバーゲンへの反応は薄い。
			商店街(代表 者)	単価の動き	・学校への定期的な納品物が秋に4~5%値上げとなり閉口している。各学校共に、消費税増税後の更なる値上げは困ると異口同音に返ってきている。たとえ100円でも値上がりは困るという状態が続いている。
		商店街(代表 者)	来客数の動き	・毎年8月は売上、来客数共に悪い月であるが、月末になってやっと前年に追いついた状況である。暑い日や天候が不安定なためか街の中に人がいない。郊外の大店には多くの人がいるが、買物袋を下げている人はあまり見かけない。	
		一般小売店[精 肉](経営者)	お客様の様子	・前月に続いて真夏日と猛暑日が続く、客は熱中症を考えあまり外に出てこない。納涼祭や花火大会などの行事には行くが、今年は人出が減っており、活気がない。	
		一般小売店[家 電](経営者)	販売量の動き	・8月の天候不順が商品の動きを悪くしている。客の消費意欲も損なわれているようである。	
		一般小売店[青 果](店長)	販売量の動き	・お盆の売行きは年々悪くなっているが、特に今年はほとんど平日と変わらないくらいであった。墓参りも花だけということで、果物の動きがかなり悪くなっている。	
		百貨店(販売促 進担当)	販売量の動き	・婦人衣料では一部秋商材に動きが見られるものの、店トータルとしては前年並みの売上額で推移している。消費税増税の影響は依然継続している。	
		百貨店(販売促 進担当)	単価の動き	・婦人衣料が極端に不振で、それ以外は前年と大きく変わらない。客単価がやや前年を下回っており、不要不急のものは買い控える、または同じ物でも安価な方を購入するといったシビアな行動がみられる。	

百貨店（店長）	お客様の様子	・品質の良い物は高額でも購入されているが、物販業態全般では売上、来客数共に前年を5%前後割っている。飲食、喫茶業態は堅調に推移している。
スーパー（経営者）	競争相手の様子	・競争環境は変わらない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・購入量がとても少ない客もいれば、とても多く買う客もいる。客によって購入意欲が違うことが目立つ。
スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・天候に左右される商品以外の販売個数や買上単価などに大きな変動がない。また、8月中旬より天候が悪く苦戦している部分もある。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・例年夏の時期、特に8月は良いのもっと高い売上になるはずだが、今年は雨がが多く、8月後半はやや気温も低かったため、残念ながら悪い状況となっている。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・今月は天候に左右され、大きく天気が荒れたために売上が若干良くなかったが、それがなければ特別大きな変化はなかった気がしている。
衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・3か月前と比較すると、前月は若干ボーナス効果もあったが、今月は暇なニッパチの8月なので予想通りの状況である。消費税増税の影響で婦人衣料は完全に我慢の対象になってしまっているため、かなり悪い。このままどうなるかというくらいいどん底である。
家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・客の購買動向に目立った変化が見られない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の販売台数が落ち込んでいる。中古車に関しては、受注はあるものの低い価格帯のものが多く、売上も利益率も振るわない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・大企業及び一次下請けまでは数億、数十億円単位の設備投資を行っているが、やはり二次以下の下請は微々たる設備投資しかできないようである。要は二極化という状況で、お金が円滑には流れていない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車の販売台数は3か月前より回復していると思うが、例年同期よりは少ない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・8月になっても4月以降の受注減が回復していない。
乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・食品関係などの生活必需品は消費が回復しているが、天候の影響により一部野菜、果物類は不作で高騰している。ガソリンの高騰は一時的に止まっているが、今後は円安が緩やかに進み影響が出てくる。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・毎年のごとくだが、8月はお盆時期ということで新車、中古車とも販売が鈍い。消費税増税後の反動減と同じくらいで、あまり景気は良くない。
自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・販売量はやや戻って来ているが、販売量、人の出入りの数が今一つで、まだ気運が高まっていないと感じる。
住関連専門店（店長）	来客数の動き	・来客数に変化はないが、買物に慎重で価格にシビアになっているように感じる。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・客数のマイナスを価格の上昇でカバーしている状況である。客数については今後も同様の傾向が続くと考えている。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・消費量に大きな変化はない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・来客数が毎月20~30人ずつ減少している。客の利用範囲が非常に狭くなっていると感じている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・人通りはあまり多くないままだが、いくらか宴会の予約が入るようになってきた。8月は例年あまり良くないので、秋から上向いてほしい。
スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きと客の様子からの判断である。消費者がどのようなことを考えているのか、なかなかつかめない状態である。
旅行代理店（所長）	来客数の動き	・夏季繁忙期であるが、猛暑、雨天などの天候異常が観光客の来訪に影響している。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・商品の内容よりも金額で動く客がまだ多い。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・春から夏にかけては前年度より実績も良く順調であったが、夏から秋の受注が良くない。少し低迷している。
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・夏の旅行シーズンにもかかわらず、販売量に顕著な伸びが見られなかった。

	タクシー（経営者）	お客様の様子	・月半ばより少し動きが良くなり、前年同月と比べて6%の増収となっている。
	タクシー（役員）	お客様の様子	・客の反応から変わらないと判断している。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・解約はあるものの減少傾向にある。しかし、新規加入増加はない。
	通信会社（局長）	お客様の様子	・客の様子を見る限り、お盆明けはやや消費抑制傾向にあるように感じるが、全体的には3か月前と何ら変わっていない。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・台風や局地的な雷雨など、悪天候の影響を大きく受けており、夏らしい天気の日がほとんどない。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共にそれほど変化がみられないからである。
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・美容院は競合店が多く、激戦で、低料金店舗のお店も増加しているため売上は低迷している。
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	来客数の動き	・来客数については各テナント会の報告でも依然横ばいということである。単価、販売量共に横ばいなので変わらない。
	その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・客の動向だけでは判断しにくい、イベントによっては定員に満たないことがある。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・仕事の依頼数は増えており、人手が足りず下請に頼む量が増加している。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・建築希望の客は結構いるが、建築単価の高騰によって実現しないのが現状で、設計しても見送ることが多い。そのため景気の動向はまだ何とも言えない。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・3か月前と比べても何の変化もみられない。週末の打ち合わせで来店する客も少ない。
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・入込客が減少気味である。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・土地等の引き合いは若干増えたように思うが、実際には成約に至らない。まだ値段が下がるだろうと客が値引き交渉をすることが理由である。貸店舗、アパート等については、アパート関係はやや飽和状態で空き家が目立つ状況で、家賃も下がったままであり、貸店舗もまだシャッターが下りたままである。
やや悪くなっている	スーパー（店長）	販売量の動き	・お中元のピークに天候が悪かったことや、気温が低く盛夏商材が売れなかったために契約していたすいかなどが大量に廃棄となり、売上以上に利益が厳しい。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上が97%、来客数が96%とやや不調である。
	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・シーズン商品のエアコンの動きが悪く、前年割れの90%で終了である。
	住関連専門店（経営者）	お客様の様子	・買上点数の微減傾向が続いている。景気の失速感とまでは言えないが停滞感を感じる。
	スナック（経営者）	お客様の様子	・災害が増え、客が財布のひもを固くしているように感じている。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・8月は良い時と悪い時の差が大きく、本当に忙しい時があるとせば、売上がゼロというような暇な時もあり、大変苦戦している。一般的に大会社の景気は良いかもしれないが、当地の中小企業は非常に苦しい。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税に伴う駆け込み需要の影響から、新築などの販売数が伸び悩んでおり、売上にも影響が出ている。消費の鈍化の影響が少なからずある。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・この夏は雨の影響で来客数が伸びず、それに比例して売上も落ち込んでしまっている。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・台風接近による週末の降雨が影響し、3か月前と比較すると来客数が伸び悩んでいる。
		ゴルフ場（支配人）	お客様の様子
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・7月から客の問い合わせ、来客数が減少し、8月に入ってから休みもあってかなり停滞している。消費税増税の影響は落ち着いたが、地方においては不景気感はまだあるようである。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・学校相手の仕事が多いので、毎年8月は悪くなるが、ここまで悪くなるとは想像もつかなかったというくらい今年が悪い。

		一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・8月は毎日のように雨が降った。雨が降ったり晴れたり気温の変動があると衣料品が売れるかと予測していたが、そういうこともなく悪い状態が続いている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・映像関連のテレビは若干前年を割る程度であったが、季節商材のエアコンが90%と振るわず、冷蔵庫、洗濯機も95%と振るわなかった。パソコン関連も90%と不調である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・とにかくタクシーを利用する客が少なすぎる。昨日も午後から駅に入ったら、客を乗せるまでに3時間以上かかった。電車からかなりの人が降りるが、皆素通りである。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・販売量は東日本大震災後の3年間下降を続けており、いまだ止まる気配もない。
企業 動向 関連 (北関東)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・部門間によって受注量や販売量のばらつきがあり、良くないところの受注量減は大きい、ある程度それをばん回できるだけの量が入ってきているので、やや良いという判断である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特注品の受注に動きがある。また、新製品投入による効果も出ている。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注量の大きな伸びはないが、新規の引き合いが増加傾向にある。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先の輸出量が増加傾向にある。
		建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・当社は公共工事主体の建設業である。公共工事の発注額は前年比10%増、当社の受注額も今のところ同8%増であるが、ここにきて発注が減少してきている。民間工事は消費税増税前の駆け込み需要の反動で、前年より大幅減になっている。受注はあるものの首都圏の建設が活況のため、材料や人件費が上がり、利益の計上が厳しくなっている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月は大きな受注があったため、前年に比べ大分受注が増えている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・消費税増税による消費の落ち込みも一服した感がある。また富士山の世界遺産登録の影響で観光客が増加している。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談数、受注量共に増加傾向にある。ただし、価格は相変わらず厳しく、収益の改善にはまだ時間がかかる。
	変わらない		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・コンクリートミキサー車などの特装車両は、納品まで1年以上待つ状態が続いており、更なる増産体制となっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の状況としては8月がそれほど落ち込まなかったということと、同業者が仕事をやめたり廃業した関係で、元請会社から当社に続けて対応してもらえないかという話があるので、それが成功すれば仕事量は増える。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・夏季休暇以降の取引先受注は少し下降傾向にあるが、9月に期待している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・多種、多機種、小ロットと、選択する余地はないが低水準ながら何とか生産を確保、維持している。
		精密機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共にやや持ち直し感はあるものの、大きな変化はなく、厳しい状況が続いている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・この2～3か月はまずまずで、取引先の様子も販売量の動きも大きな変動はない。2～3か月先はちょっと分からない状況である。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・環境装置の受注、生産、納品は大変順調である。太陽光発電の半メガソーラーは3月から目標通りに発電、売電しており、11月に第2の発電所の工事完了予定である。その後の3番目以降はパネルの指定もあり、納品が年明け後から夏までかかり、完成が遅れる予定である。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・個人消費の回復が鈍い。

	金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・市場のパイが少なくなっているために非常に競争が厳しくなっている。そういう中でなかなか価格が上げられず、利幅が取れないという状況である。また、電力、原油の値上げが響いている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・初旬は暑さが続き、夏用品の売上は順調に伸びていたようだが、お盆期間中は雨が降り、百貨店、大型店の売上は軒並み前年を割ってしまったようである。その後も回復は鈍く、8月は天候による影響が大きい。チラシ出稿量は前年比94.7%で低迷が続いている。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・世界遺産登録による動きは一段落し、この秋どう動くかは分からないが、今のところは少々静かになっている。観光客が来ているので、飲食店だけは良いようである。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・飲食店、食品系小売業、食品工業関連の運送、物流等の業況が思わしくない。当初、消費税増税後の反動減はそれほどでないとみられていたが、ここにきて不調を訴える企業が少なくない状況である。また、観光地への入込数についても、天候不順が長引いた影響などから伸び悩んでおり、宿泊業、飲食店等の関連産業の不振も見られる。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・売上等が多少伸びている事業所もあるが、原料価格の上昇など、悪影響の方が大きい事業所もある。	
やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・販売量は例年同期と比べて落ち込んでいる。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・大雨等の天候不順により、ガーデニング、レジャー用品等の輸送量が前年より落ち込んでいる。また、大雨により肥料が流れ、土壌の栄養が不足したことで野菜が小さくなり、出荷量も少ないので物量は前年比15%減と落ち込んでいる。	
	不動産業（経営者）	それ以外	・設備投資や細かな備品購入に対し、消費税増税後は特に割高感があり、慎重にならざるを得ない状況にある。	
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・天候や取引先の都合で今月の受託業務を行わないことが重なったため、売上が減少している。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年どおり、8月は宣伝広告の出稿量は少ない。	
悪くなっている	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月末に秋商戦向けの大型展示商談会が開催されたが、来場客が少なく商談も低調で、売上は前年を下回っている。6月以降の低迷が尾を引いて、秋口商戦のスタートが切れない状況である。	
雇用関連 (北関東)	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・建設、建築関係は公共事業の一部と住宅の増改築、造成関係の一部が活発で、それが求人数にも求人内容にも出ている。お盆の長期休暇があったため、車の販売等、製造業は全般的に前年と比べて横ばいか、若干落ちているというところである。夏物衣料等と食品関係は大体横ばいである。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・自動車部品関連と食品で麺類関連の派遣求人が増えている。
		人材派遣会社（支社長）	採用者数の動き	・間接雇用から直接雇用へと雇用形態が偏ってきている。同時に求職者側の意識も直接雇用へ傾いている。志向が偏っても、需要は変わらないため、今後は採用対象にならない直接雇用の希望者をどう活用するかが問題となりそうである。
		求人情報誌制作会社（経営者）	求人数の動き	・例年8月は季節的に求人が増加するが、今年はパート、アルバイトの他に正社員募集が求人誌広告、チラシでも目立っている。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・働く意欲が薄れている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が前年同月比で増加しているが、その増加幅が徐々に減少し、ほぼ横ばいになっている。景気は足踏み状態である。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・状況にあまり変化はないが、一部の職種、業種で人手不足感が大きくなっているように感じる。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較すると求人数は増加しているが、前年と比較した場合は15%程度減少している。	
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業の正社員求人にも全く変化が見られない。	

	学校 [専門学 校] (副校長)	求職者数の動き	・業種、職種によって求人の有無がはっきりしている ように感じる。特に、販売職に就きたいと思っている 生徒が多いが、求人は少ない。
やや悪く なっている	人材派遣会社 (経営者)	雇用形態の様子	・今まで忙しかったが、これから3か月間は少し暇に なる予定である。また来年の夏は良くなる。
悪く なっている	-	-	-